

H17・春

問題1 リンス・コンディショナー・トリートメントに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① リンスは、柔軟性と光沢のある毛髪に仕上げるのが主となっている。
- ② コンディショナーは、毛髪に艶や潤いを与え、感触がよくなるように毛髪の表面にはたらきかける。
- ③ ヘアトリートメントは、毛髪に必要な手当を施すことで、正常な状態に近づけ毛髪を保護する。
- ④ プレトリートメントは、酸性効果のあるリンス剤を用いて、毛髪を本来の状態に戻す。

H17・夏

問題2 シャンプー剤の特徴に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 洗浄効果を主としたシャンプー剤は、脂性の頭皮及び毛髪に使用する。
- ② コンディショニング効果のあるシャンプー剤は、乾性の頭皮及びダメージした毛髪のコンディションを整える目的で用いられる。
- ③ ヘアカラー用シャンプー剤は、ヘアカラーの施術後、またはヘアカラーを繰り返している毛髪のpHを整え、保湿効果を高めた弱酸性のシャンプー剤である。
- ④ 抗ふけ効果のあるフケ取りシャンプー剤は、パーマントウェーブ前に使用する。

H18・春

問題3 オイリースカルプトリートメントに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 皮脂が不足して、頭皮が乾燥している状態のときに行う。
- ② 頭皮の皮脂の分泌が過多の場合に行う。
- ③ フケの除去のために行う。
- ④ 頭皮が正常な状態のときに行う。

H18・夏

問題4 スカルプトリートメントに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ダンドラフスカルプトリートメントは、頭皮が乾燥している場合に行う。
- ② ドライスカルプトリートメントは、正常な頭皮の場合に行う。
- ③ オイリースカルプトリートメントは、頭皮の皮脂の分泌が過多の場合に行う。
- ④ ノーマルスカルプトリートメントは、フケ除去のために行う。

H19・春

問題5 シャンプー剤に含まれているアニオン界面活性剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 洗浄効力がある。
- ② 泡立ちがきめ細かく、豊かである。
- ③ 刺激が弱い。
- ④ 毛髪の静電気を防止する。

H19・夏

問題6 シャンプーに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 毎日シャンプーしても適切な洗い方であれば、洗いすぎることはない。
- ② 毛髪は、水分を吸収して膨潤しているので、毛髪を強くこすり合わせてシャンプーすると毛小皮をいためる。
- ③ パーマントウェーブの前に行うシャンプーは、頭皮に刺激を与えないように気をつける。
- ④ シャンプー剤は一度に多量に使用すると効果的で毛髪も傷めることもない。

H20・春

問題7 シャンプー剤の種類と選び方に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 脂性の頭皮や毛髪には、コンディショニング効果のあるシャンプー剤が適している。
- ② アルカリ性に傾いていたんでいる毛髪には、ヘアカラー用シャンプー剤が適している。
- ③ 乾性の頭皮には、ジंकピリチオンなどの殺菌剤を配合したシャンプー剤が適している。
- ④ フケの多い頭皮には、酸性効果のあるクエン酸を配合したシャンプー剤が適している。

問題8 シャンプー前のブラッシングに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 毛髪の汚れである頭皮のフケを浮かせて除去しやすくする。
- ② マッサージ効果によって頭皮の新陳代謝を促す。
- ③ どの部分もつむじから生え際に向けて行う。
- ④ 毛髪のもつれをほぐし、抜けるべき毛髪をすき取る。

問題9 頭皮が乾燥している状態の場合に行うスカルプトリートメントは、次のうちどれか。

- ① ノーマルスカルプトリートメント
- ② ドライスカルプトリートメント
- ③ オイリースカルプトリートメント
- ④ ダンドラフスカルプトリートメント

H20・夏

問題10 シャンプーイングに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a シャンプーに使用のお湯の温度は、一般に25～28℃が適温とされている。
- b パーマネントウェーブやヘアカラーリングの前にシャンプーを行う場合は、頭皮を刺激するような成分の含まれるシャンプー剤を用いるのは控える。
- c 適量以上のシャンプー剤を使っても、さほど洗浄力は増加しない。
- d 毛髪は水分を吸収して膨潤しているので、毛髪を強くこすり合わせてシャンプーするとよい。

- ① a と b
- ② b と c
- ③ c と d
- ④ a と d

問題11 リンス、コンディショナーの主成分に関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

「リンス、コンディショナーの主成分として配合されている（ A ）は、毛髪の（ B ）に吸着し、毛髪の表面に皮膜をつくるので、（ C ）を防止してブラシのとおりをよくする。」

- | | A | B | C |
|---|-----------|-----|-----|
| ① | アニオン界面活性剤 | 脂肪分 | 枝毛 |
| ② | カチオン界面活性剤 | 表面 | 静電気 |
| ③ | アニオン界面活性剤 | 表面 | 静電気 |
| ④ | カチオン界面活性剤 | 脂肪分 | 枝毛 |

H21・春

問題12 スカルプトリートメントに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① スカルプトリートメントの技術過程を大別すると、物理的な方法と化学的な方法がある。
- ② 頭皮の生理機能を化学的な方法で健康に保持するため、ヘアトニック、スカルプトリートメント剤を使用する。
- ③ ダンドラフスカルプトリートメントは、フケ除去の目的で行う方法である。
- ④ スカルプケアで使用する育毛剤の成分であるグリチルリチン酸モノアンモニウムは、血行促進の効果がある。

H22・春

問題13 PPTトリートメントに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

「PPT（加水分解コラーゲン）トリートメントは、（ A ）配合のポリペプチドが毛髪に吸着し、（ B ）にすぐれている。」

- | | A | B |
|---|-----|------|
| ① | 低濃度 | 保護作用 |
| ② | 高濃度 | 修復作用 |
| ③ | 低濃度 | 加温作用 |
| ④ | 高濃度 | 補強作用 |

問題14 スカルプマッサージ技術の叩打法（パーカッション）に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① タッピングは、指の掌面を用いて指頭叩打する。
- ② カッピングは、こぶしで叩打する。
- ③ ビーディングは、手掌で叩打する。
- ④ ハッキングは、手掌をカップ状にくぼませ叩打する。

H22・夏

問題15 シャンプー剤に配合されているアニオン界面活性剤に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 洗浄効果を高める
- b 泡立ちをきめ細かく、豊かにする
- c 保湿力を高める
- d 毛髪の静電気を防止する

- ① aとb ② bとc ③ cとd ④ aとd

H23・春

- 問題16 リンス剤、コンディショナー剤、トリートメント剤の成分に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① ラノリン、スクワラン、エステル油などの油性成分は、過剰に失われた皮脂を補い、毛髪の水分蒸発をコントロールする。
 - ② カチオン界面活性剤は、毛髪のタンパク質に吸着し、毛髪表面に被膜をつくり、静電気を防止する。
 - ③ 毛髪の保護成分は、カチオンポリマーよりもカチオン界面活性剤の方が毛髪に長く残る。
 - ④ 加水分解コラーゲン（PPT）の成分であるアミノ酸は、損傷によって流れ出たタンパク質を補う役割をする。

H23・夏

- 問題17 リンス剤に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① リンス剤は、頭毛のpHと同じ弱酸性のものが望ましい。
 - ② ヘアカラー施術後には、酸性に傾いた頭毛のpHを元に戻す為、アルカリ性のリンス剤を用いる
 - ③ 配合されたアミノ酸は、毛表面に皮膜を作り、静電気を防止して柔らかな手触りにする。
 - ④ 乾性の頭皮には、湿潤効果のあるジंकピリチオンが配合されたリンス剤を用いる。

H24・春

- 問題18 スカルプマッサージの基本手技の打法と特徴に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
- ① ハッキング・・・両手の指間を開け、手掌の外側面で軽く交互に叩打する
 - ② タッピング・・・手掌をカップ状にくぼませて手の甲で頭、首、肩をリズムカルに叩く
 - ③ カッピング・・・指の掌面を用いて頭をはじくように叩打する
 - ④ ピーディング・・・手掌で平均的に刺激を与えるように叩打する

H24・夏

- 問題19 頭皮の皮脂の分泌が過剰の場合に行うスカルプトリートメントは、次のうちどれか。
- ① オイリースカルプトリートメント
 - ② ダンドラフスカルプトリートメント
 - ③ ドライスカルプトリートメント
 - ④ ノーマルスカルプトリートメント

H25・春

- 問題20 シャンプーに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。
- a ヘアカラーの施術後のシャンプーは、取れん作用を利用しながら行う。
 - b パーマネントウェーブ施術前のシャンプーは、頭皮を刺激しないように行う。
 - c ファーストシャンプーは、手の動きをやや細かくし、マッサージ効果を意識して行う。
 - d シャンプーに使用するお湯の温度は、一般に25～28℃が適温とされている。
- ① aとb ② bとc ③ cとd ④ aとd

H25・夏

- 問題21 コンディショニング効果のあるシャンプー剤の特徴に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 皮脂の分泌を抑えるジंकピリチオンが配合されているので、油性の頭皮や頭毛に適している。
 - ② ヘアカラー、パーマネントウェーブの施術によりアルカリ性に傾いた頭毛に適している。
 - ③ 洗浄力を多少おさえて皮脂をとりすぎず、コンディションを整えるので乾性の頭皮や頭毛に適している。
 - ④ 油性成分の配合が多く洗浄力が強いので、脂性の頭皮や頭毛に適している。

H26・春

- 問題22 ヘアトリートメント剤に関する次の文章の（ ）内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。
 「PPTトリートメントは、高濃度配合の（ B ）が毛髪に吸着し、（ C ）作用にすぐれている。」

- | | | |
|-------------|-------|----|
| | B | C |
| ① ヒアルロン酸 | ———— | 保護 |
| ② カチオン界面活性剤 | — | 補修 |
| ③ ポリペプチド | ———— | 補修 |
| ④ ラノリン | ————— | 保護 |

H26・夏

問題23 次の技術のうち、遠赤外線を利用すると大きな促進効果が期待できるものはどれか。

- ① ヘアトリートメント
- ② ヘアシャンプーイング
- ③ ヘアカットング
- ④ ヘアカーリング

問題24 スカルプトリートメントに関する次の記述のうち、化学的な方法に該当するものはどれか。

- ① ヘアトニック、スカルプトリートメント剤などを使用し、頭皮及び毛髪の生理機能を健康に保持する方法
- ② スチームタオルやヘアスチーマーなどの湿熱、あるいは遠赤外線などの温熱を利用する方法
- ③ スカルプマッサージによる方法
- ④ ブラシを利用する方法

H27・春

問題25 スカルプマッサージ技術の揉捻法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 4指と母指を用いてもみほぐす。
- ② 手掌、4指、母指を用いて強くこする。
- ③ 指の掌面を用いて、頭をはじくように叩打する。
- ④ 手掌を用いて、左右の側頭部を圧迫する。

H27・夏

問題26 トリートメントに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① プレトリートメントは、パーマメントウェーブやヘアカラーの施術前に行い、毛髪を保護して損傷の拡大を防ぐ。
- ② オイリースカルプトリートメントは、乾燥している頭皮に油分を補うために行う。
- ③ PPTトリートメントは、親水性の高いポリペプチドを用いており、毛髪の損傷補修作用に優れている。
- ④ オイルトリートメントは、加温して用いることにより浸透が促進され、油分が補われる。

H28・春

問題27 シャンプーイングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① シャンプーに使用のお湯の温度は、35°C以下が適温である。
- ② シャンプー前のブラッシングは、毛先から根元に向けて行う。
- ③ セカンドシャンプーでは手の動きを細かくし、マッサージ効果を意識して行う。
- ④ サイドシャンプーは、バックシャンプーに比べてネーブが洗いやすく、両手でしっかり洗うことができる。

H28・夏

問題28 スカルプトリートメントの要素に関する次の記述のうち、化学的な方法に分類されるものはどれか。

- ① ブラシを使用する方法。
- ② スカルプマッサージによる方法。
- ③ ヘアトニックを使用する方法。
- ④ ヘアスチーマーの湿熱を利用する方法。

H29・春

問題29 ヘアトリートメント技術に関する次の記述のうち、スクランチに該当するものはどれか。

- ① 手のひらの中で毛髪を包み込むようにして、ヘアトリートメント剤を手早く必要な部位にもみこむ。
- ② 手でストランドをにぎるようにして、両手で交互にスルーし、ヘアトリートメント剤を毛髪内部へ押し込み、毛髪表面を整える。
- ③ 人差し指と中指でストランドをはさみ、両手で交互にスルーし、ヘアトリートメント剤をなじませながら、毛髪表面を整える。
- ④ ストランドを軽く持ち上げ、ウェーブヘアカールを壊さないように、ゆっくり握るようになじませる。

H29・夏

問題30 スカルプマッサージ手技の打法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① タッピングは、手掌をカップ状にくぼませて両手を軽く握り、手の甲で頭、首、肩をリズムカルに叩打する。
- ② ハッキングは、両手の指間を開け、手掌の外側面で軽く交互に叩打する。
- ③ カッピングは、こぶしで叩打する。
- ④ ビーディングは、指の掌面を用いて頭をはじくように叩打する。

H30・春

問題31 バックシャンプーに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 技術者は、シャンプーボールの後ろに立って施術する。
- ② フェイスマスクを使用しなくてもよい。
- ③ サイドシャンプーに比べてネーブが洗いにくい。
- ④ 耳の後ろに指が入りにくく、洗い残しがちになる。

H30・後期

問題32 シャンプーイングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ブラッシングはゴールデンポイントからフロント・サイドの生え際に向かってとかすとよい。
- ② パーマネントウェーブやヘアカラーの施術前には、ファーストシャンプーだけを行う。
- ③ ヘアカラー施術後は、保湿性の高いアルカリ性のシャンプーが適している。
- ④ ファーストシャンプーは、セカンドシャンプーより手の動きを細かくし、時間をかけて洗うとよい。

H31・前期

問題33 コンディショニング効果を主としたシャンプー剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 乾性の頭皮やダメージを受けた毛髪の状態を整える目的で用いられる。
- ② 洗浄力を多少抑えて、パーマネントウェーブなどによって水分が過剰に失われた乾燥毛に適している。
- ③ 油成分の配合が少なく、洗浄力が強いので、脂性の頭皮や毛髪に適している。
- ④ カチオンポリマーやシリコーン誘導体などが配合され、毛髪を保護する働きがある。

H31・後期

問題34 スカルプトリートメントを施す場合の化学的な方法は、次のうちどれか。

- ① ヘアトニックを使用する。
- ② スカルプマッサージを行う。
- ③ ブラシを使用する。
- ④ ヘアスチーマーなどの湿熱を利用する。

R2・前期

問題35 スカルプマッサージの基本手技に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 揉擦法は、両手掌を左右の耳介部にかぶさるように置き、指先が頭皮に触れる瞬間に力をいれてつまみ上げ、指先全体で円を描くように頭頂部までもんでいく手技
- ② 振動法は、強く頭皮を押し、手から急に力を抜く勢いで頭皮を強くこする手技。
- ③ 打法のハッキングは、指の掌面を用いて頭をはじくように叩打する手技。
- ④ 打法のタッピングは、両手の指間を開け、手掌の外側面で軽く交互に叩打する手技。

R2・後期

問題36 シャンプーイングの目的や方法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① シャンプーイングは、汚れを取り除き、その後のカットやブローなどヘアデザインを容易にする土台をつくる。
- ② セカンドシャンプーでは、ファーストシャンプーで落としきれなかった汚れをとるので、大きめの動きでファーストシャンプーより時間をかけない。
- ③ パーマネントウェーブ及びヘアカラー施術前のシャンプーは、薬剤が効果的にはたらくようにしっかりとしたタッチで頭皮をこする。
- ④ ヘアカラー施術後のアフターシャンプーは、薬剤を除去するため、時間をかけずに強めに洗う。

R3・前期

問題37 トリートメントに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① トリートメント剤に配合されているカチオン界面活性剤は、毛髪の補修作用にすぐれている。
- ② トリートメント剤は、加温して用いることにより、浸透が促進される。
- ③ トリートメント剤は、洗い流すタイプと洗い流さないタイプがある。
- ④ プレトリートメントは、パーマネントウェーブやヘアカラーの施術前に行われる。

R3・後期

問題38 リンスやトリートメントに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① リンス剤を用いずに、水やぬるま湯ですすぐことを、プレーンリンスングとよぶ。
- ② 石けんを主剤としたシャンプー剤の使用後には、アルカリ性のリンス剤が適している。
- ③ ヘアトリートメントの目的は、移転だ毛髪を人工的に補強し、正常な状態に近づけること、また、それ以上傷まないように毛髪を保護することである。
- ④ パーマネントウェーブやヘアブリーチ、ヘアカラー施術後は、酸性効果のあるリンス剤を用いる。

R4・前期

問題39 シャンプーイングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① お湯の温度は、45～48℃が適温である。
- ② 毛髪を強くこすり合わせてシャンプーすると、キューティクルを傷める。
- ③ パーマネントウェーブやヘアカラー施術前にシャンプーを行なう場合は、頭皮を強くこすり、汚れを落とす。
- ④ 毛髪の汚れがひどい場合は、一度に多量のシャンプー剤を使用するとよい。

R4・後期

問題40 次のうち、スカルプマッサージ手技の打法に該当しないものはどれか。

- ① タッピング
- ② ハッキング
- ③ カッピング
- ④ ストロークング